

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年前期
科 目 名	母性看護学概論	単 位 数 (時間数)	1単位（15時間）
講 師 (所属・職位等・実務経験)	野中 智恵（別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師15年）		

<科目目標>

- 母性の概念、母性の身体的・精神的・社会的特徴、母子保健の動向、母性看護と法律及び女性の各ライフステージにおける看護の概要を理解する。

<内容>

回	授業内容	授業方法
1	1. 対象理解の基盤となる概念 1) 母性、父性、親性 2) 母親役割、父親役割 3) 母子相互作用 4) 早期の母子接触 5) 家族の発達・機能	講義
2	2. リプロダクティブ・ヘルスに関する概念 1) リプロダクティブヘルス/ライツ 2) 性（セクシュアリティ） 3) セックス、ジェンダー 4) 性の多様性（性同一性障害等）	講義
3	3. 看護の基盤となる概念 1) エンパワメント 2) ヘルスプロモーション・ウェルネス 3) セルフケア 4) 女性・家族を中心としたケア	講義
4	4. 妊産婦・乳幼児を守る法律 1) 母子保健法 5. 女性の就労に関する法律 1) 労働基準法 2) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 3) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律	講義
5	6. 母性看護に関する法律 1) 母体保護法 2) 戸籍法 3) 死産の届出に関する規程	講義
6	7. 子育て支援施策 1) 健やか親子21 2) 健やか親子21(第2次) 3) 少子化対策の歩み 8. 母子保健に関する主な統計 1) 人口動態 (1) 出生の動向（出生率、合計特殊出生率等） (2) 死亡の動向（死産率、周産期死亡率、妊産婦死亡率、乳児死亡率等） (3) 婚姻の動向	講義

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年前期
科 目 名	母性看護学概論	単 位 数 (時間数)	1単位（15時間）
講 師 (所属・職位等・実務経験)	野中 智恵（別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師15年）		
回	授業内容	授業方法	
7	9. リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理 1) 自己決定の尊重 2) 人工妊娠中絶と倫理的課題 3) 生殖補助医療と倫理的課題 4) 出生前診断と倫理的課題 10. ウィメンズヘルスに関する看護の理解 女性のライフサイクル各期における看護 (思春期・成熟期・更年期・老年期女性の健康と看護)	講義	
【課題】 女性のライフサイクル各期における看護をまとめる			
8	11. 性暴力を受けた女性に対する看護 12. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法) 13. 国際化社会と看護 14. 災害時の母子支援 15. 周産期医療・生殖医療におけるチーム医療	講義	
<p>授業の進め方</p> <p>視聴覚教材、VTR 等を使用しながら講義を進める。母子保健法に関しては、母子健康手帳と照らし合わせながらグループワークを行えるように支援する。倫理的課題に関しては、事例を用いて、ディスカッションし、自己の意見を述べることができるように支援する。</p>			
<p>テキスト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論（医学書院） 2. 国民衛生の動向2018/2019（厚生統計協会） 3. 母子健康手帳（株式会社メディカルランド） 			
<p>評価方法</p> <p>筆記試験、レポート、出席状況により総合的に評価する。</p>			

領 域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年前期
科 目 名 (単元名)	母性看護方法論Ⅰ (妊娠・分娩・産褥の正常経過、 新生児の生理)	単 位 数 (時間数)	1単位(30時間)うち12時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	院内講師 (別府医療センター・産婦人科医師) 古賀 寛史 (別府医療センター・小児科医長)		
<p><科目目標> 妊娠・分娩・産褥の正常経過と正常経過をたどる妊産褥婦の看護を理解する。</p> <p><単元目標> 1. 生殖生理と妊娠・分娩・産褥の正常経過について理解することができる。 2. 新生児の生理について理解することができる。</p> <p><内容></p>			
回	授業内容	授業方法	
1～2	<p>1. 生殖生理と妊娠・分娩・産褥の経過 -10時間 (講師：院内講師)</p> <p>1) 正常妊娠 (1) 妊娠の生理 i. 妊娠の定義 ii. 妊娠の成立 iii. 胎盤の形成 (2) 妊娠とその診断 (3) 妊娠期に行う検査と目的 (4) 胎児の発育と生理 i. 胎児の発育 ii. 胎盤と羊水の生理 iii. 胎児の生理 iv. 胎児と薬剤・放射線・環境汚染物質 (5) 胎児の発育と健康状態の診断 i. 発育状態 ii. 胎児発育の評価法 iii. 胎児の触知、胎位・胎向の診断 iv. 胎児の健康状態 a. 超音波断層法 b. 胎児心拍数陣痛図 c. BPS (biophysical profile score) d. 胎児末梢血検査 (6) 妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント i. 妊娠経過の診断 ii. 基礎的情報のアセスメント iii. 妊婦・胎児の身体的健康状態のアセスメント iv. 日常生活に関するアセスメント</p>	講義 VTR	

領 域	専門分野Ⅱ (母性看護学)	開講時期	2 年前期
科 目 名 (单元名)	母性看護方法論Ⅰ (妊娠・分娩・産褥の正常経過、 新生児の生理)	単 位 数 (時間数)	1 単位(30 時間) うち 12 時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	院内講師 (別府医療センター・産婦人科医師) 古賀 寛史 (別府医療センター・小児科医長)		
回	授業内容	授業方法	
3～5	<p>2) 正常分娩</p> <p>(1) 分娩の要素</p> <p>i. 分娩とは</p> <p>ii. 分娩の 3 要素</p> <p>iii. 胎児と子宮および骨盤との関係</p> <p>iv. 分娩の機序</p> <p>(2) 分娩の経過</p> <p>i. 分娩の進行と産婦の身体的変化</p> <p>ii. 産婦の身体的変化</p> <p>iii. 産痛</p> <p>iv. 胎児に及ぼす影響</p> <p>(3) 産婦・胎児、家族のアセスメント</p> <p>i. 産婦と胎児の健康状態のアセスメント</p> <p>a. 基礎的情報の収集</p> <p>b. 分娩経過のアセスメント</p> <p>① 陣痛測定方法</p> <p>② 分娩進行状態の観察</p> <p>③ 聴診による情報収集</p> <p>④ 連続的胎児心拍数モニタリング</p> <p>3) 正常産褥</p> <p>(1) 産褥期の身体的変化</p> <p>i. 産褥の定義</p> <p>ii. 子宮の復古と悪露</p> <p>iii. 乳汁分泌</p> <p>iv. 月経の発来</p> <p>v. 全身の変化</p> <p>(2) 産褥期の心理・社会的変化</p> <p>(3) 産褥経過の診断</p> <p>i. 退行性変化</p> <p>ii. 進行性変化</p> <p>iii. その他の症状 (発熱、下腹部痛、外陰部痛)</p> <p>(4) 褥婦の健康状態のアセスメント</p> <p>i. 基礎的情報</p> <p>ii. 褥婦の身体の状態</p>	講義 VTR	

領 域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年前期
科 目 名 (单元名)	母性看護方法論Ⅰ (妊娠・分娩・産褥の正常経過、 新生児の生理)	単 位 数 (時間数)	1単位(30時間)うち12時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	院内講師 (別府医療センター・産婦人科医師) 古賀 寛史 (別府医療センター・小児科医長)		
回	授業内容	授業方法	
6	2. 新生児の生理の理解 -2時間 (講師:古賀 寛史) 1) 新生児の生理 (1) 新生児の定義 (2) 新生児の機能 i. 子宮外適応現象 ii. 新生児の呼吸・循環・体温・消化と吸収 iii. ビルルビン代謝と生理的黄疸 iv. 水電解質代謝・腎機能 v. 新生児の免疫・皮膚・反射・感覚機能 (3) 新生児のアセスメント i. 新生児の診断 a. 出生直後の評価、発育、奇形、黄疸の評価 新生児マススクリーニング ii. 新生児の健康状態のアセスメント a. バイタルサイン測定、身体計測、 全身の観察(フィジカルアセスメント)	講義	
授業の進め方 主に講義で進めていく。分娩、妊娠、産褥において視聴覚教材、VTR も含めながら講義を進めていく。			
テキスト 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2]母性看護学各論(医学書院) 2. 病気がみえる Vol.10 産科(メディックメディア)			
評価方法 筆記試験			

領 域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年前期～後期
科 目 名 (単元名)	母性看護方法論Ⅰ(妊産褥婦 および新生児の看護と保健指導)	単 位 数 (時間数)	1単位(30時間)うち18時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	岡部 裕美 (別府医療センター・助産師・29年) 楠本 有佳子 (別府医療センター・助産師・9年) 加藤 元美 (別府医療センター・助産師・26年)		
<p><科目目標> 妊娠・分娩・産褥の正常経過と正常経過をたどる妊産褥婦の看護を理解する。</p> <p><単元目標> 1. 妊婦・産婦・褥婦と家族に対する看護および保健指導について理解できる。 2. 新生児期の看護について理解できる。</p> <p><内容></p>			
回	授業内容	授業方法	
1～3	1. 妊娠期の看護 1) 妊婦の理解 (1) 妊娠による身体の変化 (2) 妊娠による心理・社会的変化 2) 妊婦が受ける母子保健サービス (1) 妊娠の届出と母子健康手帳の交付 (2) 健康診査 (3) 保健指導の目的・方法 3) 妊婦の保健指導の実際 (1) 妊娠中の食生活 (2) 排泄 (3) 清潔 (4) 妊娠中の衣生活 (5) 活動と休息 (6) 妊婦の勤労 (7) 妊娠中の性生活 (8) 妊娠中のマイナートラブル 4) 親になるための準備教育 (1) 分娩準備教育 (2) 育児準備のための保健相談 (3) 家族役割調整のための保健相談	講義 VTR 演習	
4～5	2. 分娩期の看護 1) 産婦の理解 (1) 産婦の身体の変化 (2) 産婦と家族の心理・社会的変化 2) 看護目標と産婦のニーズ 3) 安全分娩への看護 4) 安楽な分娩への看護 5) 出産体験が肯定的になるための看護 6) 基本的ニーズに関する看護 (1) 水分・栄養・排泄・清潔・睡眠・休息のニーズの充足 7) 家族発達を促す看護 8) 分娩期の看護の実際 (1) 分娩第1期の看護 (2) 分娩第2期の看護 (3) 分娩第3・4期の看護	講義 VTR 演習	

領 域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年前期～後期
科 目 名 (単元名)	母性看護方法論Ⅰ(妊産褥婦 および新生児の看護と保健指導)	単 位 数 (時間数)	1単位(30時間)うち18時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	岡部 裕美 (別府医療センター・助産師・29年) 楠本 有佳子 (別府医療センター・助産師・9年) 加藤 元美 (別府医療センター・助産師・26年)		
回	授業内容	授業方法	
6～8	3. 産褥期の看護 1) 褥婦の理解 (1) 褥婦の身体の変化 (2) 褥婦と家族の心理・社会的変化 2) 身体機能の回復および進行性変化への看護 (1) 褥婦のセルフケアの不足に対する看護 i. 休息と活動 ii. 栄養、排泄、清潔 iii. 乳房ケア iv. 産後経験する疼痛への対処 (2) セルフケア能力を高める看護 3) 児との関係確立への看護 (1) 児との対面 (2) 愛着形成 4) 育児にかかわる看護 (1) 児の栄養(授乳) (2) 児の清潔 (3) 児の健康管理 5) 家族関係再構築への看護 6) 育児不安と育児支援 7) 職場復帰	講義 VTR 演習	
9	4. 新生児の看護 1) 出生直後の看護 2) 出生後から退院時までの看護 (1) 退院までの経過観察と看護 (2) 新生児の栄養 (3) 新生児と医療事故、医療安全、感染予防 3) 生後1ヶ月健康診査に向けた退院時の看護 (1) 退院診察 (2) 児が順調に育っていくための環境づくり	講義	
授業の進め方 視聴覚教材等を用いて講義で進めていく。分娩の実際に関しては、状況を設定し演習も入れていく。			
テキスト 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論 (医学書院) 2. 病気がみえる Vol.10 産科 (メディックメディア)			
評価方法 筆記試験			

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年前期
科 目 名 （単元名）	母性看護方法論Ⅱ （妊娠・分娩・産褥期の異常）	単 位 数 （時間数）	1 単位(30 時間) うち 14 時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	院内講師（別府医療センター・産婦人科医師）		
<p><科目目標></p> <p>妊娠・分娩・産褥期の異常経過と、異常経過をたどる妊産褥婦の看護を理解する。さらに新生児の正常経過と異常について理解する。</p> <p><単元目標></p> <p>1. 妊娠・分娩・産褥期の異常について理解できる。</p> <p><内容></p>			
回	授業内容	授業方法	
1～2	<p>1. 妊娠・分娩・産褥期の異常 -10 時間 (講師：院内講師)</p> <p>1) 異常妊娠の病態と検査・治療</p> <p>(1) ハイリスク妊娠</p> <p>i. 生活習慣、心理的・社会的因子、体格による影響(高年妊娠、若年妊娠等)</p> <p>ii. 既往妊娠分娩歴</p> <p>iii. 今回の妊娠中の異常</p> <p>iv. 合併する全身疾患 糖尿病、妊娠糖尿病、妊娠貧血等</p> <p>(2) 妊娠期の感染症</p> <p>(3) 妊娠疾患 妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、 血液型不適合妊娠</p> <p>(4) 多胎妊娠</p> <p>(5) 妊娠持続期間の異常 不育症、流産、早産・切迫早産</p> <p>(6) 異所性妊娠</p>	講義 VTR	
3～4	<p>2) 異常分娩の病態生理と治療・処置</p> <p>(1) 産道の異常</p> <p>i. 骨産道、軟産道の異常</p> <p>(2) 娩出力の異常</p> <p>i. 陣痛の異常</p> <p>a. 微弱陣痛 b. 過強陣痛</p> <p>(3) 胎児の異常による分娩障害</p> <p>(4) 胎児の付属物の異常</p> <p>i. 胎盤の異常 前置胎盤、常位胎盤早期剥離等</p> <p>ii. 臍帯の異常</p> <p>iii. 卵膜の異常 前期破水等</p> <p>iv. 羊水の異常</p>	講義 VTR	

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年前期
科 目 名 (単元名)	母性看護方法論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥期の異常)	単 位 数 (時間数)	1 単位(30 時間) うち 14 時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	院内講師（別府医療センター・産婦人科医師）		
回	授業内容	授業方法	
3～4	(5)胎児機能不全 i. 概念 ii. 原因 iii. 診断 iv. 治療 (6)分娩時の損傷 (7)分娩第3期および分娩直後の異常 i. 胎盤の娩出遅延 ii. 子宮の異常 (8)分娩時異常出血 (9)産科処置と産科手術 i. 分娩誘発 ii. 会陰切開 iii. 帝王切開	講義 VTR	
5	3)異常産褥の病態生理と治療・処置 (1)子宮復古不全 (2)産褥期の発熱 産褥熱、泌尿器感染症（尿路感染、排尿障害）、乳腺炎等 (3)産褥血栓症 (4)精神障害	講義 VTR	
6	4)遺伝相談、出生前診断 -2時間 (講師：院内講師) (1)遺伝相談とは (2)出生前診断の実際	講義	
7	5)不妊検査・治療 -2時間 (講師：院内講師) (1)不妊症とその原因 (2)不妊検査、治療	講義	
授業の進め方 視聴覚教材、VTR 等を用いて講義を進める。学生の理解を深めるために、事例を含めながら説明していく。			
テキスト 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論(医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [9] 女性生殖器(医学書院) 3. 病気がみえる Vol.10 産科(メディックメディア) 4. 病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版(メディックメディア)			
評価方法 筆記試験			

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年前期～後期
科 目 名 (单元名)	母性看護方法論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥および 新生児の異常の看護)	単 位 数 (時間数)	1単位(30時間)うち16時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	安藤 聡美（別府医療センター・助産師・11年） 宮崎 恵子（別府医療センター・新生児認定看護師・看護師28年）		
<p><科目目標></p> <p>妊娠・分娩・産褥期の異常経過と、異常経過をたどる妊産褥婦の看護を理解する。さらに新生児の正常経過と異常について理解する。</p> <p><単元目標></p> <p>1. 妊娠・分娩・産褥期の異常における看護と保健指導について理解できる。 2. 新生児の異常における看護と家族への保健指導が理解できる。</p> <p><内容></p>			
回	授業内容	授業方法	
1～3	1. 妊娠の異常の看護 -14時間（講師：安藤 聡美） 1) ハイリスク妊婦の看護 (1) 高年妊婦 (2) 若年妊婦 (3) 肥満・過剰体重増妊婦 (4) ART後の妊婦 2) 合併症を有する妊婦の看護 (1) 心疾患 (2) 糖尿病 (3) 子宮筋腫 3) 妊娠高血圧症候群妊婦の看護 4) 切迫流・早産の妊婦の看護 5) 妊娠期の感染症の看護 6) 妊娠悪阻の看護	講義	
4.5	2. 分娩の異常の看護 1) 破水が生じた産婦の看護 2) 分娩遷延のリスクのある産婦の看護 3) 胎児機能不全を生じるリスクのある産婦の看護 4) 前置胎盤のある産婦の看護 5) 常位胎盤早期剥離時の看護 6) 帝王切開術を受ける産婦の看護 7) 分娩時異常出血のある産婦の看護 (1) 弛緩出血を生じた産婦の看護 (2) 頸管裂傷を生じた産婦の看護 (3) 会陰裂傷を生じた産婦、会陰切開を行った産婦の看護	講義	
6.7	3. 産褥期の異常の看護 1) 子宮復古不全の看護 2) 産褥期の発熱の看護	講義	

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年前期～後期
科 目 名 (单元名)	母性看護方法論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥および 新生児の異常の看護)	単 位 数 (時間数)	1単位(30時間)うち16時間
講 師 (所属・職位等・実務経験)	安藤 聡美（別府医療センター・助産師・11年） 宮崎 恵子（別府医療センター・新生児認定看護師・看護師28年）		
回	授業内容	授業方法	
6.7	3)感染症を持っている褥婦の看護 (1)B型肝炎 (2)成人T細胞白血病 (3)後天性免疫不全症候群 4)乳房トラブルへの看護 5)本人あるいは児に健康上の問題がある褥婦の看護 (1)帝王切開術後の看護 (2)深部静脈血栓症の予防 (3)早産児や低出生体重児を産んだ褥婦の看護 6)児を亡くした褥婦・家族の看護 7)精神障害合併妊婦と家族の看護	講義	
8	4.異常を持つ新生児の看護 -2時間 (講師：宮崎 恵子) 1)新生児仮死の看護 2)新生児低血糖症の看護 3)新生児一過性多呼吸（TTN）・胎便吸引症候群(MAS)の看護 4)分娩外傷の看護 5)新生児ビタミンK欠乏症の看護	講義	
授業の進め方 視聴覚教材等を用いて講義を進める。妊娠・分娩・産褥・新生児の事例を加えながら説明していく。			
テキスト 1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論(医学書院) 2.病気がみえる Vol.10 産科(メディックメディア)			
評価方法 筆記試験			

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年後期												
科 目 名 （单元名）	母性看護方法論演習 （母性看護技術演習）	単 位 数 （時間数）	1単位(30時間)うち10時間												
講 師 （所属・職位等・実務経験）	高 空 裕子(別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・看護師27年)														
<p><科目目標></p> <p>妊娠・分娩・産褥期における必要な看護技術を身につける。事例を用いた褥婦と新生児の看護過程の展開・母性看護における集団指導を実施する。</p> <p><単元目標></p> <p>1. 母性看護に必要な看護技術を身につける。</p> <p><内容></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>授業内容</th> <th>授業方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1. 妊婦の看護・保健指導に必要な技術 1) 腹囲、子宮底長測定 2) レオポルド触診法</td> <td>講義 演習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2. 産婦の看護に必要な指導・技術 1) 呼吸法、リラックス法、マッサージ法 3. 胎児付属物の観察、計測</td> <td>講義 演習</td> </tr> <tr> <td>3～5</td> <td>4. 褥婦、新生児の看護に必要な技術 1) 沐浴 2) 新生児計測</td> <td>講義 演習</td> </tr> </tbody> </table>				回	授業内容	授業方法	1	1. 妊婦の看護・保健指導に必要な技術 1) 腹囲、子宮底長測定 2) レオポルド触診法	講義 演習	2	2. 産婦の看護に必要な指導・技術 1) 呼吸法、リラックス法、マッサージ法 3. 胎児付属物の観察、計測	講義 演習	3～5	4. 褥婦、新生児の看護に必要な技術 1) 沐浴 2) 新生児計測	講義 演習
回	授業内容	授業方法													
1	1. 妊婦の看護・保健指導に必要な技術 1) 腹囲、子宮底長測定 2) レオポルド触診法	講義 演習													
2	2. 産婦の看護に必要な指導・技術 1) 呼吸法、リラックス法、マッサージ法 3. 胎児付属物の観察、計測	講義 演習													
3～5	4. 褥婦、新生児の看護に必要な技術 1) 沐浴 2) 新生児計測	講義 演習													
<p>授業の進め方</p> <p>妊婦の事例を提示し、妊婦健康診査を通して、腹囲、子宮底長測定、レオポルド触診法の演習を行う。沐浴に関しては、演習後、技術チェックを行い、技術の習得状況を確認する。</p>															
<p>テキスト</p> <p>1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論(医学書院)</p> <p>2. 根拠と事故防止からみた母性看護技術(医学書院)</p> <p>3. ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図(医学書院)</p>															
<p>評価方法</p> <p>レポート、技術チェック、授業態度により総合的に評価する。</p>															

領 域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年後期															
科 目 名 (単元名)	母性看護方法論演習 (母性看護教育演習)	単 位 数 (時間数)	1 単位(30 時間)うち 8 時間															
講 師 (所属・職位等・実務経験)	高空 裕子(別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師 27 年)																	
<p><科目目標></p> <p>妊娠・分娩・産褥期における必要な看護技術を身につける。事例を用いた褥婦と新生児の看護過程の展開・母性看護における集団指導を実施する。</p> <p><単元目標></p> <p>1. 母性看護各期における集団指導の方法を身につける。</p> <p><内容></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>授業内容</th> <th>授業方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1.保健指導案作成について 1)性教育(思春期) 2)妊娠中の身体の変化と生活 3)妊娠中の栄養 4)産後の身体の変化と生活 5)児の育て方 6)産後に起こりやすい母児の異常 7)沐浴指導 8)更年期の過ごし方</td> <td>講義 グループワーク</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2.保健指導(集団指導)案作成</td> <td>グループワーク</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3.保健指導(集団指導)発表</td> <td>講義 グループワーク</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>3.保健指導(集団指導)発表</td> <td>講義 グループワーク</td> </tr> </tbody> </table>				回	授業内容	授業方法	1	1.保健指導案作成について 1)性教育(思春期) 2)妊娠中の身体の変化と生活 3)妊娠中の栄養 4)産後の身体の変化と生活 5)児の育て方 6)産後に起こりやすい母児の異常 7)沐浴指導 8)更年期の過ごし方	講義 グループワーク	2	2.保健指導(集団指導)案作成	グループワーク	3	3.保健指導(集団指導)発表	講義 グループワーク	4	3.保健指導(集団指導)発表	講義 グループワーク
回	授業内容	授業方法																
1	1.保健指導案作成について 1)性教育(思春期) 2)妊娠中の身体の変化と生活 3)妊娠中の栄養 4)産後の身体の変化と生活 5)児の育て方 6)産後に起こりやすい母児の異常 7)沐浴指導 8)更年期の過ごし方	講義 グループワーク																
2	2.保健指導(集団指導)案作成	グループワーク																
3	3.保健指導(集団指導)発表	講義 グループワーク																
4	3.保健指導(集団指導)発表	講義 グループワーク																
<p>授業の進め方</p> <p>母性看護方法論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学看護を展開するための技術(教育・指導技術)を活用し、集団指導について学ぶ。グループでパンフレット、指導案を作成後発表し、全員で共有し、集団指導を学ぶことができるように支援する。</p>																		
<p>テキスト</p> <p>1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論(医学書院)</p> <p>2.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論(医学書院)</p> <p>3.ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図(医学書院)</p> <p>4.根拠と事故防止からみた母性看護技術(医学書院)</p>																		
<p>評価方法</p> <p>レポート、発表評価、授業態度により総合的に評価する。</p>																		

領 域	専門分野Ⅱ（母性看護学）	開講時期	2年後期																					
科 目 名 （単元名）	母性看護方法論演習 （母性看護過程展開）	単 位 数 （時間数）	1単位(30時間)うち12時間																					
講 師 （所属・職位等・実務経験）	野中 智恵(別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師15年)																							
<p><科目目標></p> <p>妊娠・分娩・産褥期における必要な看護技術を身につける。事例を用いた褥婦と新生児の看護過程の展開・母性看護における集団指導を実施する。</p> <p><単元目標></p> <p>1. 事例にそって褥婦および新生児の看護過程の展開ができる。</p> <p><内容></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>授業内容</th> <th>授業方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1. 母性看護過程展開 1)ヘルスプロモーション型看護診断 2)事例説明</td> <td>講義 個人ワーク</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2. 母性看護過程展開演習 (褥婦・新生児の分析)</td> <td>講義 ワーク</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3. 母性看護過程展開演習 (褥婦・新生児の分析) 発表</td> <td>講義 ワーク</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4. 母性看護過程展開演習 (関連図、看護診断) 発表</td> <td>講義 ワーク</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5. 母性看護過程展開 (関連図、看護診断) 発表</td> <td>講義 ワーク</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6. 母性看護過程展開 (介入計画立案)</td> <td>講義 ワーク</td> </tr> </tbody> </table>				回	授業内容	授業方法	1	1. 母性看護過程展開 1)ヘルスプロモーション型看護診断 2)事例説明	講義 個人ワーク	2	2. 母性看護過程展開演習 (褥婦・新生児の分析)	講義 ワーク	3	3. 母性看護過程展開演習 (褥婦・新生児の分析) 発表	講義 ワーク	4	4. 母性看護過程展開演習 (関連図、看護診断) 発表	講義 ワーク	5	5. 母性看護過程展開 (関連図、看護診断) 発表	講義 ワーク	6	6. 母性看護過程展開 (介入計画立案)	講義 ワーク
回	授業内容	授業方法																						
1	1. 母性看護過程展開 1)ヘルスプロモーション型看護診断 2)事例説明	講義 個人ワーク																						
2	2. 母性看護過程展開演習 (褥婦・新生児の分析)	講義 ワーク																						
3	3. 母性看護過程展開演習 (褥婦・新生児の分析) 発表	講義 ワーク																						
4	4. 母性看護過程展開演習 (関連図、看護診断) 発表	講義 ワーク																						
5	5. 母性看護過程展開 (関連図、看護診断) 発表	講義 ワーク																						
6	6. 母性看護過程展開 (介入計画立案)	講義 ワーク																						
<p>授業の進め方</p> <p>ヘルスプロモーション型看護診断を学ぶことは、新学習であるため、ヘルスプロモーション型看護診断とは何かを説明する。さらに、事例を通して、褥婦の退行性・進行性変化、心理状態、母親役割、家族関係、社会/生活環境が理解できるように進めていく。母親だけでなく母児一体で考えることができるように支援していく。</p>																								
<p>テキスト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論(医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論(医学書院) 3. ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図(医学書院) 4. NANDA－Ⅰ 看護診断 定義と分類<2018/2020>(医学書院) 5. 根拠と事故防止からみた母性看護技術(医学書院) 																								
<p>評価方法</p> <p>レポート、発表評価、授業態度により総合的に評価する。</p>																								

領 域	専門分野Ⅱ (母性看護学)	開講時期	2年・後期・3年前期・後期
科 目 名 (単元名)	母性看護学実習	単 位 数 (時間数)	2単位(90時間)
講 師 (所属・職位等・実務経験)	野中 智恵 (別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・15年)		
<p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.妊婦の特徴と必要な看護を理解できる。 2.産婦の特徴と必要な看護を理解できる。 3.褥婦の身体的・心理的・社会的変化を理解し、産褥経過を促進する援助が実施できる。 4.新生児の子宮外生活への適応状態を理解し、必要な援助を実施できる。 5.母性における継続看護・社会資源の活用について理解できる。 6.母性看護をとおして自己の母性観・父性観を考えることができる。 7.保健・医療チームの一員としての自覚をもち専門職業人として望ましい態度をとることができる。 <p><学習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の身体的・心理的・社会的特徴の理解 2. 妊婦に必要な健康診査と妊娠期の保健指導の理解 3. 分娩の進行と産婦の生理的変化および心理的特徴の理解 4. 産婦の日常生活援助および苦痛緩和の援助の理解 5. 経日的な退行性変化を捉え、褥婦のセルフケア行動を促進するかわり方 6. 経日的な進行性変化を理解し促進する支援の理解 7. 褥婦のセルフケア行動を促進する保健指導の実施 8. 心理的社会的変化を理解し、母親への適応過程を促進する援助の実施 9. ハイリスクな状態にある褥婦の特徴と看護の理解 10. 新生児の生理的特徴の理解 11. 新生児の日常生活の援助 12. 継続看護と社会資源の活用と必要性の理解 13. 自己の母性観の理解 <p>* 詳細は母性看護学実習の実習要項に準ずる。</p>			
<p>テキスト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論(医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論 (医学書院) 3. 母子健康手帳(株式会社 メディカルランド) 4. 国民衛生の動向 2018/2019(厚生統計協会) 5. 病気がみえる Vol.10 産科 (メディックメディア) 6. 根拠と事故防止からみた母性看護技術 (医学書院) 7. ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図 (医学書院) 8. ザ・ロイ適応看護モデル 第2版(医学書院) 9. よくわかる中範囲理論 第2版 (学研) 10. 基礎看護学技術Ⅰ (医学書院) 11. 基礎看護学技術Ⅱ (医学書院) 12. 看護技術がみえる vol 1 基礎看護技術(メディックメディア) 13. 看護技術がみえる vol 2 基礎看護技術(メディックメディア) <p style="text-align: right;">他 既習のテキストを活用する</p>			

領 域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年・後期・3年前期・後期
科 目 名 (単元名)	母性看護学実習	単 位 数 (時間数)	2単位(90時間)
講 師 (所属・職位等・実務経験)	野中 智恵 (別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・15年)		
<p>評価方法</p> <p>学則細則第9条「授業科目の評価は講義・演習の授業科目について定期試験と随時試験によって行い、実習の授業科目については平素の実習状況及び内容、提出された諸記録、レポート等を総合して指導者が行う。」に準じて評価する。</p> <p>履修規定第 12 条3項「実習終了後は指定された期日までに指定のレポート類を提出しなければならない。期日までに提出せず放棄したとみなされる場合は、実習評価表のレポートに関する項目の評定を受けることができない。忌引きその他やむを得ない理由で指定された期日に提出できない場合は期限を指定する。</p>			

領域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年・後期・3年前期・後期
科目名 (単元名)	母性看護学実習	単位数 (時間数)	2単位(90時間)
講師 (所属・職位等・実務経験)	野中 智恵 (別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・15年)		
<p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.妊婦の特徴と必要な看護を理解できる。 2.産婦の特徴と必要な看護を理解できる。 3.褥婦の身体的・心理的・社会的変化を理解し、産褥経過を促進する援助が実施できる。 4.新生児の子宮外生活への適応状態を理解し、必要な援助を実施できる。 5.母性における継続看護・社会資源の活用について理解できる。 6.母性看護をとらえて自己の母性観・父性観を考察することができる。 7.保健・医療チームの一員としての自覚をもち専門職業人として望ましい態度をとることができる。 <p><学習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の身体的・心理的・社会的特徴の理解 2. 妊婦に必要な健康診査と妊娠期の保健指導の理解 3. 分娩の進行と産婦の生理的変化および心理的特徴の理解 4. 産婦の日常生活援助および苦痛緩和の援助の理解 5. 経日的な退行性変化を捉え、褥婦のセルフケア行動を促進するかわり方 6. 経日的な進行性変化を理解し促進する支援の理解 7. 褥婦のセルフケア行動を促進する保健指導の実施 8. 心理的社会的変化を理解し、母親への適応過程を促進する援助の実施 9. ハイリスクな状態にある褥婦の特徴と看護の理解 10. 新生児の生理的特徴の理解 11. 新生児の日常生活の援助 12. 継続看護と社会資源の活用と必要性の理解 13. 自己の母性観の理解 <p>* 詳細は母性看護学実習の実習要項に準ずる。</p>			
<p>テキスト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論(医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論 (医学書院) 3. 母子健康手帳(株式会社 メディカルランド) 4. 国民衛生の動向 2018/2019(厚生統計協会) 5. 病気がみえる Vol.10 産科 (メディックメディア) 6. 根拠と事故防止からみた母性看護技術 (医学書院) 7. ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図 (医学書院) 8. ザ・ロイ適応看護モデル 第2版(医学書院) 9. よくわかる中範囲理論 第2版 (学研) 10. 基礎看護学技術Ⅰ(医学書院) 11. 基礎看護学技術Ⅱ(医学書院) 12. 看護技術がみえる vol 1基礎看護技術(メディックメディア) 13. 看護技術がみえる vol 2 基礎看護技術(メディックメディア) <p style="text-align: right;">他 既習のテキストを活用する</p>			

領 域	専門分野Ⅱ(母性看護学)	開講時期	2年・後期・3年前期・後期
科 目 名 (单元名)	母性看護学実習	単 位 数 (時間数)	2単位(90時間)
講 師 (所属・職位等・実務経験)	野中 智恵 (別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・15年)		

評価方法

学則細則第9条「授業科目の評価は講義・演習の授業科目について定期試験と随時試験によって行い、実習の授業科目については平素の実習状況及び内容、提出された諸記録、レポート等を総合して指導者が行う。」に準じて評価する。

履修規定第12条3項「実習終了後は指定された期日までに指定のレポート類を提出しなければならない。期日までに提出せず放棄したとみなされる場合は、実習評価表のレポートに関する項目の評定を受けることができない。忌引きその他やむを得ない理由で指定された期日に提出できない場合は期限を指定する。